



Harmony

編集・発行 弥彦村教育委員会
TEL(0256)94-1021
FAX(0256)94-3232
〒959-0392 西蒲原郡弥彦村大字矢作 402 番地

弥彦を愛し、夢や志をもってつながりを広げる強くたくましい子供

メディアコントロールについて考えましょう！

日本の子どもは、乳幼児期から生活が夜型になり、就寝時刻が遅くなって睡眠不足が深刻になっているとの調査報告があります。また、慢性的な睡眠不足による身体的な不調の訴えの他に「寝るべき時間に眠れない」、「眠くても眠れない」と訴える子どもが増え、4～5人に1人の割合で睡眠習慣の乱れや睡眠障害を抱えているという報告もあります。



要因は様々考えられますが、とりわけ深刻なのが、スマートフォンやインターネットの急速な普及によるゲームなどメディアに接する時間の増加です。世界保健機関（WHO）は、ゲームのやり過ぎで日常生活が困難になる「ゲーム障害」を国際疾病として正式に認定するなど、日本に限らず国際的な課題でもあります。弥彦村の子どもたちも、全国平均と比較してもゲームなどのメディアにふれる時間が長く、睡眠時間が少ないという傾向が数年来指摘されています。

10月8日に行われた「学校運営協議会」で、学校から、元気アップ週間を設定し小中連携して生活習慣を見直そうという取組をしたとの報告がありました。取組の成果として、「テレビを見る時間が減り、親子の会話が増えた」などの声がある一方で、長時間メディアに触れている子どもが依然として多いとの報告がありました。その後、委員から次のような発言がありました。

- ・報告のあった小中連携して取り組んでいる元気アップ週間の取り組みは素晴らしい。しかし、恥ずかしながら親としてどのような取組なのか、十分に理解していなかった。
- ・子どもの問題というよりも親の問題もあると思う。子どもだけに直せといっても、大人が実践していなければ説得力はない。子どものせいにしても反発するだけだと思う。
- ・「親が～しなさい」と言っても聞く耳をもたなくなっている。子供と親でルールを決めることや、子供同士で対策を考えることもいいのではないか。



協議会では、メディアコントロールについては、子どもだけの問題にせず、学校・地域・家庭で協力して共に考えていかなければならないテーマであることを確認しました。

村民の皆様も一緒に考えませんか？

第3回教育フォーラム

《テーマ》メディアコントロールについて

《日時》令和元年11月30日（土）13：30～15：30

《会場》弥彦村役場大ホール

《講師》市野敬介さん（千葉県青少年を取り巻く有害環境対策推進協議会代表）

※文部科学省主催の研修会でも講師を務めるなど、全国各地で講演活動を行っておられる方です。

《内容》講演、参加者による意見交換

フォーラムのお申込み・お問い合わせは教育委員会（94-1021）までお願いいたします。

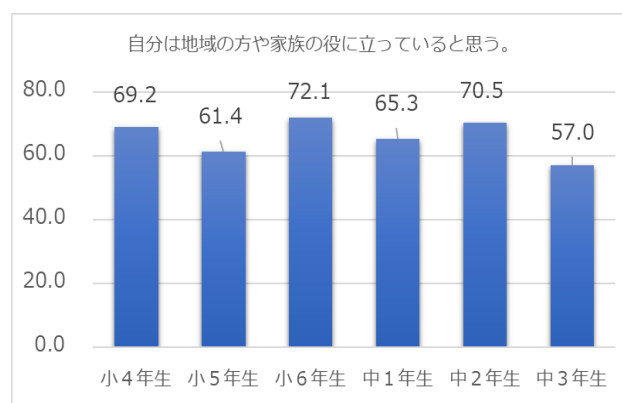
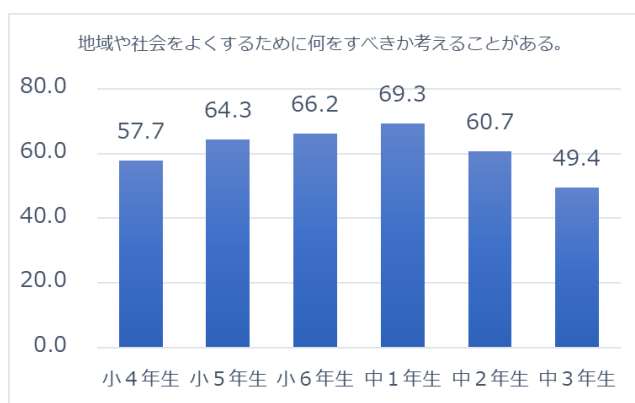
子どもは地域で学び・育つ！

10月6日(日)に、第18回弥彦ワールドカップが行われました。6月の村民体育祭と同様に地域同士のつながりや年齢を超えたつながりを大切にする弥彦村の特色ある取組です。子どもたちも参加して、大人とともに競技を楽しむ姿が見られました。

4月に教育委員会で実施した「目指す子ども像アンケート」の「自分は地域の方や家庭の役に立っていると思う」という項目では、調査したすべての学年で約60%～70%の児童生徒が肯定的に回答しています。また、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」という項目では、学年によって数値にばらつきがあるものの、半数以上の児童生徒が肯定的に回答しています。

弥彦小・中学校では、総合的な学習の時間等で豊富な地域の資源を活用した「ふるさと学習」に取り組んでいます。学習を通して、弥彦を愛し、弥彦に貢献したいという児童生徒が着実に育っています。

子どもたちが学校で培った弥彦に貢献したいという思いを発揮して、地域で活動することができれば、さらなる弥彦村の活性化につながります。「ふるさと学習」は弥彦の将来を考えて取り組んでいるのです。



(“はい” “どちらかといえばはい” と回答した児童生徒の割合)

保育園・小学校の連携

9月28日(土)に、3園で運動会が実施されました。保護者、地域の皆様、多くのご声援ありがとうございました。

教育委員会では今年度「保小連携の充実」を方針に掲げています。特に、保育園から小学校への入学が子どもにとって大きなギャップになることを考え、スムーズに保育園から小学校に適応できるようにどうしたらよいか、検討しています。夏休み中に保育士と小学校の担当者が集まり、連携の在り方について検討を始めました。

今後も保育園・小学校の連携を深め、子どものよりよい成長に向けて一丸となって取り組んでまいります。

